

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表： 令和4年2月26日

事業所名：ここぷらす 坂之上

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○		人員配置基準を満たす配置をしている。	より一人ひとりに合わせた丁寧な関わりができるよう、人材育成と職員配置を行っていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		必要に応じて情報を視覚化し、ご利用者に分かりやすい環境設定を行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		一クラス終わる毎に、清掃及び知育玩具や教材の消毒も行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		終礼やミーティング時に意見を出し合い、業務改善を図っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回が初めての評価であった。保護者やご利用者からの意向を受け止め、業務改善に繋げていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今回が初めての評価であった。結果はホームページにて公開していく。また、評価の結果をもとに業務改善に繋げていく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後、実施を検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に1回以上の実施を行っている
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		事業所内での検査を行い、発達段階を評価したうえで、計画を作成している。	発達検査や知能検査の数値を基に、根拠ある療育が行えるよう外部の機関とも連携を図っていく。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			ご利用者の状態像をより適切に把握するため、アセスメントツールを改良していく予定である。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		曜日ごとに活動の内容(運動・音楽・造形・就学前など)を変えている。各曜日においても活動内容に変化を付け、楽しく意欲的に活動が行えるよう工夫している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		送迎時等に、園での様子や事業所での活動内容などの情報共有を行っている。	保育園との定期的な情報共有の場を設け、一貫性のある支援が行えるようにしていく。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		令和3年7月に開所した事業所であり、現在のところ、移行支援を行った実績はないが、今後移行支援を行っていく。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		令和3年7月に開所した事業所であり、現在のところ、移行支援を行った実績はないが、4月より移行支援を行っていく。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		公開療育や研修へ参加させて頂いている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や情報共有ツールを使用し、情報の共有を行っている。半年に1回以上面談の機会を設定している。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	常時、相談に対する助言を行っている。	プログラム化された支援は行うことができていない。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時には、必ず説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		現在のところ、保護者同士の関わりのサポートができていない。土曜日、祝日の開所が出来次第、活動をととして保護者交流の機会を設けていくとともに、保護者のニーズを確認し必要に応じて保護者会の開催も検討していく。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に1回のお便りとともに、インターネットを活用した連絡ツールにて、情報の発信を行っている。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		買い物体験等、地域の方々との交流の機会を設けている。	コロナウイルス感染症等もあり、地域住民を招く機会は現在のところ作ることができていない。感染症の状況に応じて、検討していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		策定はできているものの、保護者への周知に至っていないため、保護者の目の届く位置に掲示したり、月のお便りにてお知らせさせて頂く等し、対応していく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		令和3年12月より偶数月に避難訓練を実施している。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		服薬や発作の有無については事前に確認している。	予防接種の状況については、未確認であったため、緊急非常時に備え、契約時に確認を行っていく。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事提供はない。おやつ提供があるため、アレルギーを事前に確認し、アレルギーがあると判断される場合には完全除去している。	指示書の有無の確認ができていないため、確認していく。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		他拠点のヒヤリハットや事故報告も回覧、確認し、事故防止に努めている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に1回以上虐待防止に関する研修を行っている。社内研修のみならず、外部の研修にも参加している。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			契約時にご説明させて頂くとともに、個別支援計画にも記載している。やむを得ないと判断される場合や事例に関して、虐待防止委員会等で検討し、適切なサービス提供が行えるよう努める。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)